

努力賞

「がんばれ車いすのぴよんた」を読んで

荒川区立第三日暮里小学校三年

市村 梨奈

やなぎだ先生こんにちは。

私は「がんばれ車いすのぴよんた」

というお話を読みました。ぴよんたは、保育園で
かわれているうさぎです。

ぴよんたは、さいしよはとても元気でした。あ
る日、ぴよんたはだっ走し、みんなは一生けんめ
いさがしてやっと見つかりました。ぴよんたは足
をこっせつしていました。子どもたちはみんなと
ても心ばいしました。

子どもたちはぴよんたがらくになるようにお手
伝いをしました。そしてぴよんたは車いすになり
ました。さいしよはむずかしかったけれどがん
ばってれんしゅうして自分でうごけるようになり
ました。

子どもたちはひさしぶりに円くなっておどりま
した。ぴよんたはとても楽しそうでした。あんな
につらいのにわらえたのは子どもたちのおかげだ
と思います。

私はこの本を読んで子どもたちはぴよんたのこ
とをこんなに大切なんだなと思いました。そして、
ぴよんたは3か月ほどいきてなくなってしまいま
した。短い時間だったけどとてもたのしかったと

思います。さいごに楽しくなれたのは子どもたちのおかげだと思います。子どもたちがぴよんたにしたことがやくにたったんだと思います。そして

ペットにどんなことがあってもずっとおうえんしたいです。

この本の子どもたちみたいになりたいです。

私はおうえんする力ってこんなにすごいんだなと思いました。それに子どもたちはとてもやさしいと思います。どうしてかという子どもたちは、ぴよんたのことを自分のことのように大切にしているからです。ぴよんたはさいごまであきらめませんでした。そのすがたを見てみんなはぴよんたのことをおうえんしたくなったのだと思います。

私も家でペットをかっています。そして私もペットが大好きで大切です。だから、子どもたちがぴよんたを大切にする気もちがわかります。